

令和6年度 いじめ防止基本方針

【学校教育目標】

郷土を愛し、夢や志をもち、今行動する和中生を育てる
 ナマ シランニャ イチ シュイ
 シリバ ディキユン

【いじめ対策委員会】

〈目的〉
 「いじめはどの子どもにも、どの学校においても起こりえるものであること、誰もが被害者にも加害者にもなり得るものである」という基本認識に立つことで、全校生徒がいじめのない明るく楽しい学校生活を送ることができるようになる。

〈組織構成〉
 校長、教頭、生徒指導主任、生徒指導学年担当、養護教諭
 (状況に応じて関係機関等職員と連携)

● 家庭・地域との連携

- 保護者
- PTA会長
- 民生児童委員
- 主任児童委員
- 区長

● 関係機関等との連携

- SSW, SC
- 病院
- 保健センター
- 警察
- 児童相談所
- 町教委

【推進の重点】

- 規範意識を養い、豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進
- 社会で自立できる「生きる力」をはぐくむ教育の推進
- 開かれた学校、信頼される学校づくりの推進
- 伝統の尊重と創造的な継承の推進
- 「当たり前のことを当たり前にする生徒」を認められる集団作り
- 自発的、自治的な生徒会活動による望ましい人間関係づくり

【いじめの防止】

- 教職員
 - ① 「分かりやすい、規律ある授業」の実践
 - ② 「自尊感情を育む教育活動」の推進
 - ③ 「正義が通る生徒指導」の実践
- 生徒
 - ① 生徒会活動での「いじめ撲滅宣言」の遵守
 - ② 人権標語、人権作文への積極的な学習活動参加
- 保護者
 - ① 箸の持ち方(しつけ、生きる力)は家庭、鉛筆の持ち方(基礎学力の定着)は学校で
 - ② 家庭内のルール設定(携帯電話、インターネット環境の把握など)

【推進体制】

- 毎週水曜日に定例生徒指導部会における情報の集約と対応策の検討
- 金曜日の職員朝会における情報の共有と共通実践事項、個別への対応策の共通理解
- 学校ネットバトロール事業検索結果の活用
- 「いじめ対策必携」「生徒指導リーフ」「生徒指導提要」等の活用
- 小中高連携の強化
- 特別支援教育の視点に立った教育活動の展開(二次障害への対応)

【いじめの早期発見】

- 教職員
 - 日常的な観察(行動・持ち物)と積極的な働きかけ、情報共有、アンケート結果・教育相談の実施
- 生徒
 - 協力・信頼し、支え合う人間関係づくり
- 保護者
 - 日常的な観察・働きかけ、学校との連携

【いじめに対する措置】

- 教職員
 - 全職員による毅然とした対応、保護者・地域・関係機関との連携
- 生徒
 - 仲間づくり、学級づくりの再構築
- 保護者
 - 学校・関係機関との連携

【年間計画】

月	計画及び評価	実態把握等	各教科・道徳・特別活動等	生徒会活動	情報モラル関連	教育相談	職員研修
4	年間及び1学期の活動計画の検討 取組評価アンケートの作成	教育相談アンケート 学校楽しいとSNSチェックシート	「いじめ問題を考える週間」の実施	生徒集会、文化班による「いじめ」に関する作品の朗読	各教科における指導計画の確認 日曜参観での保護者に向けて情報モラルの講話	家庭訪問	生徒事例研究(生徒個人、生徒指導事例、特別支援)学校基本方針の確認
5	実態に基づいた対応策の検討	学校生活アンケート	道徳(共通主題「生命尊重」)		全体指導	家庭訪問、教育相談	個別支援計画 具体的な対応の在り方
6		学校生活アンケート	「ネットトラブル予防教室」				家庭との連携の在り方について
7	取組評価アンケートの実施	学校生活アンケート	道徳(共通主題「思いやり」) 保健学習(薬物乱用防止教室)		携帯・ネット利用実態調査	3年三者面談	
8	取組評価アンケート集計、取組の検証、2学期の活動計画の検討						取組評価結果から生徒指導・特別支援教育の研修講話
9	実態に基づいた対応策の検討	学校生活アンケート			携帯・ネット利用実態調査		生徒指導事例研究
10		「学校楽しい」との活用	「いじめ問題を考える週間」の実施の実施	道徳「集団生活の向上」	携帯・ネット利用実態調査 いじめ防止標語作成		具体的な対応の在り方
11		学校生活アンケート				教育相談・三者面談	
12	取組評価アンケートの実施、集計、取組の検証	学校生活アンケート		生徒集会、文化班による「いじめ」に関する作品の朗読			取組評価結果から
1		学校生活アンケート					具体的な対応の在り方
2	取組評価アンケートの実施、集計	学校生活アンケート	道徳(共通主題「自他の尊重」)				次年度生徒指導事例研究準備
3	取組の検証、次年度活動計画案作成	学校生活アンケート				個別相談	